

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
分担研究報告書

支援が必要な家族・遺族に適切なこころのケアを届けるための国内モデルの提案

研究分担者 山岸 暁美 慶應義塾大学・医学部衛生学公衆衛生学教室

研究要旨

支援が必要な家族・遺族に適切なこころのケアを届けるための国内モデルを提案するために、保健所等を中心とするモデルなどを念頭に調査、検討を行う予定だったが、新型コロナウイルスの蔓延のために研究が実施できなかった。次年度は、1) 保健所を中心とするモデル、2) 医師会等、地域の医療介護専門職能団体と病院の協働によるモデル、3) 民間団体のネットワークによるモデルの3つを提示する予定である。

A. 研究目的

本研究では、わが国の医療提供体制を前提とした遺族を支援するための医療機関等の連携を強化するための国内モデルの提案を行う。具体的には、遺族ケア・グリーフケアの提供実態や課題を把握し、日本の医療システムを念頭においた支援が必要な家族・遺族に適切なこころのケアを届けるための国内モデルを提案する。

B. 研究方法

遺族ケア・グリーフケアの提供、人材育成に携わるさまざまな機関に所属する多職種を対象に半構造化インタビューを実施し、Thematic Analysisを行う予定であった。

（倫理面への配慮）

必要に応じて実施施設における研究倫理審査を受ける。

C. 研究結果

新型コロナウイルスの蔓延のために研究が実施できなかった。

D. 考察

次年度は、1) 保健所を中心とするモデル、2) 医師会等、地域の医療介護専門職能団体と病院の協働によるモデル、3) 民間団体のネットワークによるモデルの3つを提示する予定である。

E. 結論

支援が必要な家族・遺族に適切なこころのケアを届けるための国内モデルを提案するために、保健所等を中心とするモデルなどを念頭に調査、検討を行う予定だったが、新型コロナウイルスの蔓延のために研究が実施できなかった。次年度は、1) 保健所を中心とするモデル、2) 医師会等、地域の医療介護専門職能団体と病院の協働によるモデル、3) 民間団体のネットワークによるモデルの3つを提示する予定である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし